

総会報告

事務長 神山始佳

昭和51年度沼津高専同窓会総会は、10月24日(日)に母校学寮食堂において行なわれました。

同窓生 112名、旧教職員 2名、母校からは樋口学校長をはじめとする教職員の方々の御出席をいただき、総勢約 130名にて開かれました。

ただ、雨がわざわざいしたせいか例年に比べ出席者の少なかったことは残念です。

また、本年度は同窓会設立10周年にあたり、その記念として編集出版された同窓会名簿を受付にて販売いたしました。

予定より10分遅れ、午後1時10分より、司会の小川(E5)の開会の辞に始まり、議長団には、議長白鳥(M1)、副議長佐藤(E3)、書記藤田(E10)が選出され、白井同窓会長(M1)の挨拶の後、議事にはいりました。

先ず、前年度事務長の跡部(M1)より昭和50年度会計報告がなされ、監事高橋(E4)よりの監査報告があり、圧倒的多数にて承認されました。次に、前年度会長の伊達(M1)より昭和50年度業務報告、そして、久保田副会長(M2)より昭和51年度業務中間報告および昭和51年度業務計画案が提案され承認を受けました。最後に昭和51年度予算案が事務長より説明され、承認を受け議事を終了しました。

続いて、鈴木(E1)より昭和51年度同窓会役員の紹介、顧問教官、顧問事務官の紹介があり、議長団の解任を経て、閉会しました。

記念撮影の間にテーブルの用意がされ、武田(M2)の司会により懇親会に移り、同窓会名誉会長の樋口学校長の挨拶、そして、来賓の深尾先生、水谷さんの祝辞、現教職員の阪倉先生の祝辞をいただき、金子事務部長の首頭により一同乾杯し、歓談にはいりました。

歓談中、佐々木先生や高橋課長の挨拶をいただき、更に、金子事務部長と水谷さんの美しい喉を披露していただきました。

学生時代の思い出話や現在の職場での話にかが咲き、楽しい時を過ごしました。

懇親会も進み、テーブルの上も残り少なくなった4時頃、

恒例の近藤(M8)の指揮による校歌斉唱、鈴木(M1)の音頭による万才三唱にて、めでたく閉会しました。

昭和50年度運営会計経費収支決算報告書

拠出収入

科 目	決算額	予算額	比 較
終 身 会 費	1,420,000	1,420,000	0
受 取 利 息	42,590	30,000	△12,590
寄 付 金	10,000	0	△10,000
總會懇親会会計より繰入金	42,520	0	△42,520
合 計	1,515,110	1,450,000	△65,110

経費支出

科 目	決算額	予算額	比 較
会 議 費	73,240	70,000	△ 3,240
通 信 費	115,185	160,000	44,815
事 務 用 品 費	34,650	30,000	△ 4,650
慶 弔 費	85,500	50,000	△ 35,500
同 窓 会 誌	343,240	350,000	6,760
同 窓 会 だ よ り	54,400	60,000	5,600
雑 費	17,400	30,000	12,600
郵便振替手数料	6,450	10,000	3,550
印 刷 費	73,900	90,000	16,100
旅 費 交 通 費	0	30,000	30,000
支 部 交 付 金	0	40,000	40,000
總會懇親会会計へ繰出金	50,000	50,000	0
未収金取立不能高	10,000	0	△ 10,000
雑 損 失	20	0	△ 20
予 備 費	0	100,000	100,000
当 期 剩 余 金	651,125	380,000	△171,125
合 計	1,515,110	1,450,000	△ 65,110

昭和50年度財産収支決算報告書

財 産 支 出		財 産 収 入	
科 目	決算額	科 目	決算額
現 金	△ 198,715	前 受 金	△ 160,000
郵便振替貯金	△ 683,120	未 払 金	△ 10,000
銀行普通預金	1,086,960	当 期 剩 余 金	651,125
銀行定期預金	1,240,000		
什器備品購入費	11,000		
未 収 金	△ 975,000		
合 計	481,125	合 計	481,125

当期剰余金処分計算書

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
当 期 剩 余 金	651,125	固 定 資 産 基 金	11,000
		減 価 償 却 引 当 金	2,827
		繰 越 剰 余 金	637,298
合 計	651,125	合 計	651,125

貸借対照表(当期剰余金処分後)

昭和51年3月31日

資 産 の 部		負 債 及 び 基 金 の 部	
流 動 資 産	8,772,051	流 動 負 債	1,165,000
現 金	54,139	未 払 金	0
郵便貯金	9,930	前 受 金	1,165,000
銀行預金	4,062,982	基 金	7,630,477
未 収 金	4,645,000	基 金	240,000
固 定 資 産	23,426	固 定 資 産 基 金	23,426
什 器 備 品	23,426	固 定 資 産 引 当 金	15,074
		剩 余 金	7,351,977
合 計	8,795,477	合 計	8,795,477

監査報告書

厳正なる監査の結果、会計帳簿は正確かつ明確に記帳されており、収入・支出とも適正で、昭和50年度収支決算報告書及び貸借対照表の記載に相違がないことを認めます。

昭和 51 年 10 月 24 日

監 事 奥 田 温 一 ㊟
高 橋 徹 ㊟

昭和50年度業務報告

昭和49、50年度会長 伊 達 忠 昭

昭和50年度の総会迄の業務については昨年末に発行した、同窓会だより第4号の誌上にて報告済ですので、総会以後の業務について順を追って報告します。

1. 総会終了後まもなく11月18日に理事会を開き、総会についての反省と同窓会だより4号の企画を行いました。
2. その後、同窓会だよりの原稿作成、或いは校正等の為、11月から12月にかけて数回の理事会を開き、12月26日に、同窓会だより第4号を発行し、全会員に発送しました。
3. 2月18日に母校視聴覚教室に於て5年生会員を対象に同窓会の説明会を行いました。これは新しく同窓会員となる人達に同窓会の現状と入会後の心得を説明する為に学校側の協力を得て毎年開いているもので、当日は三役と新会長の白井君の4名が出席して行いました。
4. 3月18日に50年度最後の理事会を新会長の出席のもとに開きました。
これは私達三役の任期中、最後の理事会でありましたので2年間の同窓会運営についての反省と51年度の運営の希望等について話し合いました。
5. 業務以外の報告事項として、
同窓会顧問として永年お世話いただいた工業化学科の村松先生が3月末日をもって停年退職されました。
同じく顧問として会の運営に御協力いただいた小松事務部長が3月末日をもって神戸大学医学部付属病院へ事務部長として転勤されました。



51年度業務計画案及び中間報告

同窓会副会長 久 保 田 豊

本年度は第10期の卒業生を迎え本同窓会も創立10周年になり、現在、正会員1327名、特別会員135名となっております。伊達前会長も支部の設立に努力されておりますが、支部は現在、浜松支部、愛知県支部の2支部が活動しています。事務局は母校一般科目会議室を借用し、3役、37名の理事、顧問の先生方を中心に業務をすすめております。

総会までの業務報告を簡単に致します。

- 4月 新旧役員引継、業務計画、監事選出、新理事確認と連絡網作成
 - 5月 5月1日、母校樋口校長との懇談会
名簿・会誌作成計画日程立案と編集委員の決定、名簿調査カード発送
 - 6月 名簿返却カードの整理、名簿原稿出稿、会誌編集委員会
 - 7月 7月3日、母校5年生との懇談会
会誌編集委員会
 - 8月 名簿校正、会誌原稿出稿
 - 9月 名簿校正、会誌校正、総会案内準備
9月25日会誌発行、総会案内状発送
 - 10月 総会準備
10月24日、総会及び懇親会、名簿発行
- 以上、前3役、理事の御尽力により、理事会15回、会誌編集委員会5回、三役会を随時行い、ここまで業務をすすめてまいりました。

総会以降の業務計画としまして

- 10月 名簿発送
- 11月 同窓会だより作成準備
- 12月 同窓会だより発行
- 2月 在校生への同窓会説明会
を予定しております。

事務局業務遂行上の課題、同窓会の方向性について、白井会長が第6号会誌によせて書いておりますので、再度目を通して頂き、業務報告とさせて頂きたいと思っております。

51年度中に亡くなられた方は以下の通りです。

- 機械工学科教官 大石三郎先生
- C1 飯田栄治君

昭和51年度同窓会運営会計

経費収支予算書

拠 出 収 入

科 目	金 額
終 身 会 費	1,380,000
受 取 利 息	30,000
合 計	1,410,000

経 費 支 出

科 目	金 額
会 議 費	130,000
通 信 費	450,000
事 務 用 品 費	30,000
慶 弔 費	50,000
同 窓 会 誌	460,000
同 窓 会 だ よ り	70,000
新 聞 図 書 費	20,000
雑 費	30,000
郵便振替手数料	10,000
印 刷 費	30,000
旅 費 交 通 費	10,000
支 部 交 付 金	30,000
総 会 費	50,000
予 備 費	40,000
合 計	1,410,000



全国高専体育大会の成績について

第11回を迎えた全国高専体育大会は8月24日、あいにくの雨にたたられ、新潟市の新潟市営体育館で開会式が行われた。続いて25・26両日に陸上競技・バスケットボール・バレーボール・軟式庭球(団体戦・個人戦)・卓球・(団体戦・個人戦)・柔道(団体戦・個人戦)・剣道(団体戦・個人戦)の7種目について、各地区から選抜されてきた選手により、熱気のこもる対戦が行われた。

本校からは、陸上競技・卓球(団体戦・個人戦)・軟式庭球(個人戦)の3種目に出場した。

以下種目毎の成績は次のとおりでした。

◎ 陸上競技 <新潟県営陸上競技場>

三段跳に出場した高橋克至(M5B)君はよく健闘し、全国2位の栄冠をものにした。また110mジュニア・ハードルも予選まで順調に進んだが、準決勝で惜しくも敗れ、1500mも予選で敗れてしまった。

◎ 卓球 <新潟県立新潟中央高校体育館>

団体戦はA・B・C・Dの4組で予選リーグが行われ、Dグループの本校選手は舞鶴高専・都城高専の2校と対戦、舞鶴高専には勝をおさめたが、都城高専には接戦の上敗れ、決勝トーナメントに出場できなかった。

また、個人戦はダブルスの松野(M5B)・稲葉(M4B)組がよく健闘し、佐世保高専と育英高専をやぶり、ベスト8までこぎつけたが、準々決勝で惜しくも敗れてしまった。なお、シングルスに出場した2名もそれぞれ1回戦で敗退してしまっ

◎ 軟式庭球 <新潟市営体育館>

個人戦1組が出場したが雨のため、体育館内コートで行ったため調子が出ず、1回戦で健闘したものの残念ながら敗退した。



第14回東海地区国立高等専門学校体育大会

総 合 成 績 表

種 目		順 位	優 勝	2 位	3 位
陸 上 競 技			豊 田 高 専	鈴 鹿 高 専	岐 阜 高 専
水 泳 競 技			沼 津 高 専	鳥 羽 商 船 高 専	豊 田 高 専
卓 球	団 体 の 部		沼 津 高 専	鳥 羽 商 船 高 専	鈴 鹿 高 専
	個 人 の 部	ダ ブ ル ス	森 原 (鳥羽)	松 野 (沼津)	大 須 賀 (沼津)
		シ ン グ ル ス	芝 崎	稲 葉	吉 田
軟 式 庭 球	団 体 の 部		吉 田 (沼津)	芝 崎 (鳥羽)	大 須 賀 (沼津)
	個 人 の 部		豊 田 高 専	岐 阜 高 専	沼 津 高 専
ハ ン ド ボ ー ル			鳥 羽 商 船 高 専	沼 津 高 専	岐 阜 高 専
バ レ ー ボ ー ル			豊 田 高 専	岐 阜 高 専	鈴 鹿 高 専
サ ッ カ ー			岐 阜 高 専 鳥 羽 商 船 高 専		沼 津 高 専 豊 田 高 専
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル			豊 田 高 専	鳥 羽 商 船 高 専	岐 阜 高 専
柔 道	団 体 戦 部	全 国 大 会 予 選	鈴 鹿 高 専	鳥 羽 商 船 高 専	沼 津 高 専
		勝 抜 戦	鈴 鹿 高 専	沼 津 高 専	鳥 羽 商 船 高 専
	個 人 の 部	軽 量 級	真 弓 (鈴鹿)	小 林 (豊田)	
		中 量 級	池 田 (鈴鹿)	薫 森 (鈴鹿)	
剣 道			田 辺 (鈴鹿)	伊 藤 (鈴鹿)	
道	団 体 戦 部	全 国 大 会 予 選	鳥 羽 商 船 高 専	鈴 鹿 高 専	豊 田 高 専
		勝 抜 戦	鈴 鹿 高 専	岐 阜 高 専	沼 津 高 専
	個 人 戦 の 部		1 位 青 田 田 (鳥羽)	2 位 近 藤 (豊田)	3 位 川 西 (鈴鹿)
硬 式 野 球			4 位 今 井 (鳥羽)	5 位 増 島 (鳥羽)	6 位 石 井 (鳥羽)
			鳥 羽	岐 阜	鈴 鹿

秋の叙勲に母校名誉教授 深尾保先生が受章されました

去る11月3日の文化の日に「秋の叙勲」が発表され、母校名誉教授深尾保先生が「勲三等旭日中綬章」をうけられました。栄誉ある受章を心からお祝いたします。

深尾先生は、本校設立の昭和37年4月静岡大学工学部から初代井形校長と共に赴任され、教務主事として昭和41年度までの4年の間大任をはたされてきました。この間、初代校長の急逝、土井二代目校長の赴任される約3ヵ月の間、校長事務取扱などの重責もあり、本校の創設期に多大な貢献をされてこられました。

昭和47年定年で退職されるまで、電気工学科の教授として教鞭をとられ、退職後は横浜に新居を建てられて平穏な日々をお送りなさっておられるとのことです。

現住所 横浜市緑区松風台24-45

同窓会設立10周年によせて

同窓会会長 白井一夫

★名簿完成報告と購入勧誘

同窓会設立10周年ということで、今年の第1目標として名簿の発行を致しました。

これは我々同窓会の手によって作られた最初の名簿です。久保田編集委員長をはじめ、理事、顧問の方々そして小池君主宰するJ.C.の協力による労作であります。また第2目標として第6号会誌を10周年記念号としてまとめることができました。これまた跡部編集委員長をはじめとした皆様の御協力により、発行することができました。これは今までの同窓会活動記録の総集編といってもよいでしょう。

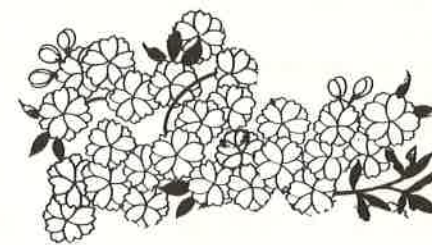
そして本年最後の主な行事である年一回の総会も10月24日(日)に盛会のうちにも無事終えることができ、私はじめ久保田副会長、神山事務長、そして各クラス理事共々一応の安堵を得ているところであります。御協力感謝致します。しかしながら、目標の一つでありました支部組織の拡充につきましては、残念ながら増やすことができませんでした。

名簿も完成したことですし、会員の皆様全員が1冊1,000円で買い求めて頂きまして、一日でも早く地域ブロックで支部を結成してもらいたいと、本部役員、理事一同願ってやみません。

★教育後援会より祝金頂く

同窓会設立10周年を祝して、教育後援会より御祝儀(金10万円他)を頂戴致しました。

総会の席において、樋口学校長(同窓会名誉会長)より渡されました。ここに改めて御報告するとともに、会員の皆様と共に慎んで御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。



昭和51年度同窓会総会懇親会会計決算報告

拠 出 収 入

総 会 費	50,000円 (運営会計より繰入)
懇親会費	168,000円 (1,500円×112名)
合 計	218,000円

経 費 支 出

オードブル	126,000円 (700円×180食)
飲 物	39,000円
役員用弁当	12,000円 (400円×30個)
剰 余 金	41,000円
合 計	218,000円

剰余金は運営会計へ繰入れました。

おねがい

同窓会費は終身会費(金1万円也)1本立てとなっております。未納の方には今後同窓会誌等の刊行物が滞る恐れがあります。至急納入されるようお願い申し上げます。振替用紙御利用方。

編 集 後 記

今回発行された名簿は逐年累加式になっており、お買上げ頂いた会員の皆様には毎年増補致しますので、全員の御購入をお願い申し上げます。

同窓会活動も乳児期から幼児期にさしかかったところです。今後共会員諸兄の有形無形の御協力をお願い致します。